

山形東高

平成28年4月1日

第68号

【発行所】
〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501
【発行人】
渡辺 季子
【印刷所】
坂部印刷機
TEL (023) 631-2056



平成27年度同窓会まつり

天馬会・雙紀会

創立131周年を迎えた山形東高同窓会まつりは、平成27年10月16日金曜日の夕方からホテルメトロポリタン山形で600名を超える会員とたくさんの来賓の方々とで賑々しく開催されました。お祭りに先立ち、同窓会総会・表彰初期が例年通り粛々と執り行われました。物故会員への黙祷、浜田同窓会長のご挨拶、永年勤続表彰、同窓会功労者表彰、喜寿学年の昭和33年度卒業（山東8回）東八会34名の先輩方へのお祝いと記念品をお渡しし、セレモニーは閉会しました。

お祭りは、実行委員長が開会を宣言し、懐かしい校歌斉唱と続きます。羽前の三山。甲子園で歌いたかった、と天馬会は今でも全員が思っています。

会長のご挨拶、ご来賓のご挨拶と淡々と進み、乾杯前に恒例の応援団チアリーダーによるエールがありました。学校は生き物だ、とはよく聞く言葉ですが、この変化には感慨深いものがあります。乾杯、祝宴と続きますが、実に良い雰囲気です。このままずっとお祭りを続けていたい、という雰囲気が会場を覆います。

祝宴の後半で楽しい演し物を用意しました。パストラボ山形ワイヴァンズのチアリーダーが山形東高同窓会の応援に来てくれました。それもまた大きく盛り上がります。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきますが、恒例の応援団による「おお勝利」の大合唱でさらに盛り上がり最後の万歳三唱では、全員の心が一つになったように思われました。閉会後も、会場を去りがたい先輩諸兄、後輩諸君が、席に残ってさらに気炎を上げていたのが実に印象的でした。

今年は、山東28回天馬会と山東50回雙紀会がお祭りの担当をさせて頂きました。天馬会はこの日のために、毎年2回の総会を10年前から開催し、ここ数年は、毎月1度は集まり、旧交を深めながら、打ち合わせを重ねて参りました。節目の打合せには頼もしい雙紀会も同席して懇親を深めました。

天馬会・雙紀会みんなで知恵を絞ったお祭りです。目指したは、こんな設えです。すばらしい仲間とすばらしい時間を過ごしたんだなあ、と心から感じていただけたような設え。すばらしい学校で学べたんだなあ、とこみあげる誇りを感じて貰えるような設え。来年も再来年も来て、みんなと語り、この雰囲気を楽しもう、と感じて貰えるような設え。やりきった感がありますが、みなさまに喜んでいただけたら、天馬会・雙紀会一同ありがたい限りです。

最後に、きめ細かいご指導をいただいた同窓事務局の今野先生、唯一の収入源であるチケットの段取りを頂きました各学年の評議員のみなさまに、心から感謝申し上げます。来年のすばらしいお祭りを本年度当番二学年一同楽しみにしています。

（実行委員長 天馬会 五十嵐 信）



ごあいさつ

校長 菅間 裕晃

伝統ある山形東高等学校に勤務し間もなく一年を迎えます。久しぶりの学校勤務、優秀で素直な生徒、熱心な教職員、理解あふれる保護者の方、母校を強く思う同窓生の方のおかげで、大変楽しく(ばかりではありませんが)充実した日々を送らせていただいております。

同窓生の皆様には、日頃より母校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。本校同窓会には地域や職域による支部が数多くありそれぞれが精力的に活動をなされています。その会合に出席するたび、母校愛、後輩愛といった熱のようなものを強く感じ、130年を超える県下随一の歴史の本校ならではの身の引き締まる思いがします。何より後輩の活躍を素直に喜んでいただけることをありがたく感じております。

10月29日の創立記念式典では、教育ジャーナリストのおおたとしまさ氏に講演いただきました。「名門校とは何か？」という著書でも知られる氏は、全国の学校を見ておられ、名門と呼ばれる学校には「habitus」と呼ばれる長年にわたって蓄積された習慣や体質・価値観のようなものが存在し、卒業生には“らしさ”が感じられるとのこと。これは、いい味噌や醤油をつくる蔵元に棲み付いている、「家付き酵母」のようなものだと、そしてそういったらしさを醸し出す学校を人々は「名門校」というのだと話された。さらにそこで学んでいる本校生には「問いを問いとして抱え続ける強さ」を持ち、大学入試のその先も見据えて欲しいと続けられた。高い資質を持った生徒達に対する期待であると同時に社会に貢献する義務をも負っているというメッセージでした。

私自身、生徒の素晴らしさには感心することばかりですが、本校の使命は、この恵まれた資質を持つ生徒達の心に灯をつけ、さらに輝くものにしていくことだと考えております。そのためには経験と刺激がとりわけ重要だと感じています。文武両道の校是を踏まえつつ、日常の生活をしっかりとするとともに新たな自分と向き合う機会を提供し、自らの進路を一層たくましく切り拓ける生徒を育成してまいりたいと考えております。

一層のご支援をお願いいたします。



ご挨拶

同窓会会長 浜田 敏

皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会に対するご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本校は、明治17年に同山形県唯一の中学校として開校し、その後、山形一高、山形東高と名称を変え、131年の歴史を刻み続けております。本校は明治、大正、昭和、平成の4代にわたり文武両道、質実剛健、自学自習の校是のもと、27,000名に及ぶ有為な人材を各界に輩出し、山形県のみならず、我が国の発展に大きな貢献をしております。

これまでの本校の隆盛は同窓会としましても、誠に喜ばしい限りであり、大変心強く、慶賀の至りであります。

皆様に改めて同窓会の維持会費納入についてお願いを申し上げます。

現役諸君はよくがんばっています。校是である文武両道を実践していると評価してよいと思います。このように少数精鋭で健闘している後輩に対して物心両面の応援をする、これが同窓会の大きな目的です。この目的のために同窓会はいろいろな活動をしています。その1つが山形東高教育後援会に対する寄附です。教育後援会は生徒の進学や部活動について後援する会ですが、同窓会は毎年100万円を寄附しています。

また会員の親睦を図ること、このことも同窓会の大きな目的です。そのための活動として毎年同窓会会報を発行し、住所のわかる約16,000名の同窓生に送付しています。また、19の地域の同窓会、3つの職域の同窓会を全部ではありませんが毎年訪問しております。

そのような同窓会の活動は同窓会各位の維持会費によって賄われております。

現在の同窓会の年間予算は約850万円であり、維持会費は800万円ほど必要です。しかし、最近の維持会費の納入総額は700万円を切っており心配な状況です。

同窓会の活動を一致団結して継続してまいりたいと思っております。維持会費の納入について同窓生各位の一層のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

悠久の山形東高同窓会の歴史と伝統を未来につないでまいりましょう。

結びに本校の益々の隆盛と皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶と致します。

平成27年度 松田杯等四賞

《松田杯》フェンシング部

平成27年度の主な成績

県高校総体	男子学校対抗	優勝
	(インターハイ、東北大会出場)	
	女子学校対抗	優勝
	(インターハイ、東北大会出場)	
東北高校総体	男子学校対抗	出場
東北高校総体	女子学校対抗	出場
全国高校総体(インターハイ)	男子学校対抗	2回戦敗退
	女子学校対抗	1回戦敗退

《鈴木杯》山崎 匠(フェンシング部)

平成27年度の主な成績

県高校総体	男子学校対抗	優勝
	男子個人対抗サーブル	優勝
	フルーレ	優勝
東北高校選手権	男子個人サーブル	第2位
全国高校総体(インターハイ)	男子個人対抗サーブル	ベスト16

平成26年度の主な成績

県高校総体	男子学校対抗	優勝
国民体育大会県予選	少年男子	第2位
県新人大会	男子個人対抗サーブル	優勝
	フルーレ	優勝

《矢野杯》音楽部

平成27年度の主な成績

全日本合唱コンクール山形県大会 銀賞

平成26年度の主な成績

山形県声楽アンサンブルフェスティバル 奨励賞 全国大会推薦
声楽アンサンブルコンテスト全国大会 優良賞

《駒草杯》松田 梢(囲碁将棋部)

平成27年度の主な成績

第39回全国高等学校総合文化祭将棋部門 団体女子 出場(大将)

平成26年度の主な成績

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門 個人女子 出場
第23回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 個人女子 ベスト16
第15回東北地区高等学校将棋新人大会 個人女子 第2位

平成25年度の主な成績

第37回全国高等学校総合文化祭将棋部門 団体女子 第5位(大将)

同窓会特別賞

《中村賞》

小関玲奈

《木村賞》

松田 梢

《山形東高同窓会賞》

奥山裕貴

《山形中学校東高東京同窓会賞》

三浦菜都子

《山形東高仙台同窓会賞》

大類正英

体育・文化活動総況

平成27年度の体育活動、文化活動における山東生の活躍ぶりを紹介いたします。

県高校総合体育大会では、フェンシング部が男女団体で創部初のアベック優勝を果たしたほか、男子エペで堀場涼選手、男子サーブルとフルーレで山崎匠選手が優勝、体操の柴田健久選手が男子個人総合で2位となり、近畿インターハイへの出場権を獲得しました。また、テニス男子団体、ハンドボール女子、フェンシング・陸上・水泳の多くの個人種目で東北大会に出場しました。この他、和歌山国体なぎなた競技の少年試合に寺澤裕夏選手が出場し、2回戦進出を果たしています。

一方、文化活動においては、滋賀県で開催された全国高校総合文化祭の囲碁、将棋、新聞、文芸、器楽管弦楽の5部門に参加しました。また、放送委員会が2部門でNHK杯全国高校放送コンテストに出場しています。更に、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクール山形県大会において金賞を受賞し、5年ぶりの東北大会出場を果たしました。

新人に切り替わってからは、県新人大会等において、フェンシングの女子団体が1位、男子団体、女子ハンドボール、弓道女子団体が2位に輝きました。また個人でも、フェンシングの堀場涼選手が男子フルーレで、小松麟太郎選手が男子サーブルで、陸上の齋藤恒選手が八種競技で、体操の柴田健久選手が個人総合で優勝しました。文化部では、吹奏楽部が初出場の日本管楽合奏コンテスト全国大会で高校A部門の最優秀賞を獲得するとともに、演劇部が東北地区高校演劇発表会で優秀賞に輝き、全国春フェスティバルへの出場権を獲得しました。また、全国高文連将棋新人大会に叶内紘

介選手と星乃彩選手が出場しています。

この他にもここに書き切れない活躍が多々あります。今後も、スポーツ・文化・その他の諸活動において山東生の活躍が大いに期待されます。

職員動向

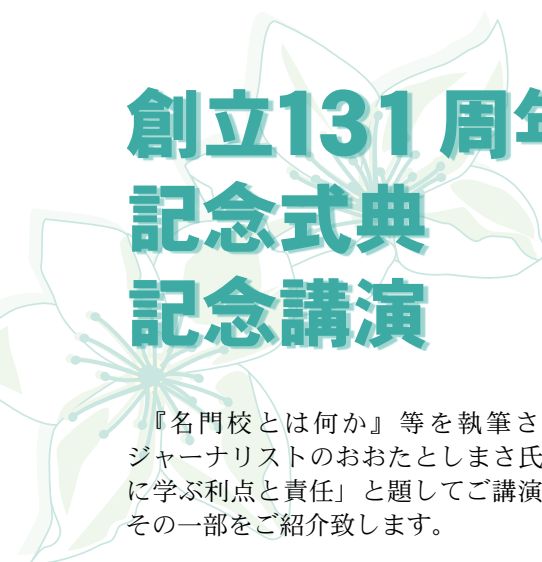
本校に係る平成26年度末人事異動を御報告いたします。転出された皆様の御尽力に心から感謝申し上げますとともに、益々の御健勝を御祈念申し上げます。また、転入された皆様には、本校の更なる発展のために御活躍くださるよう御期待申し上げます。

《転出者》(敬称略)

佐竹俊明	(校長・2年)	ご退職
北川実	(事務部長・1年)	ご退職
渡邊季子	(国語・10年)	ご退職
丹野学	(地歴・17年)	県警本部へ
石澤惣栄	(数学・13年)	荒砥高校へ
赤井芳賀寿	(数学・3年)	寒河江工業高校へ
奥山隆男	(数学・1年)	ご退職
奥山和司	(理科・4年)	上山明新館高校へ
鈴木奈津子	(音楽・1年)	寒河江高校へ
杉沼徹朗	(情報・1年)	ご退職
鍵水正美	(司書・7年)	山形西高校へ

《転入者》(敬称略)

菅間裕晃	(校長)	県教育庁より
半田善行	(事務部長)	県知事部局より
木村大介	(国語)	荒砥高校より
本宮康寛	(地歴)	上山明新館高校より
杉原貴裕	(数学)	村山産業高校より
高橋さゆり	(数学)	鶴岡北高校より
高橋明子	(理科)	山形中央高校より
高橋吉隆	(音楽)	左沢高校より
中村紘二郎	(英語)	楯岡高校より
渡邊研一	(情報)	高島高校より
浅井幸世	(司書)	山形工業高校より



創立131周年 記念式典 記念講演

『名門校とは何か』等を執筆されている教育ジャーナリストのおおたとしまさ氏より、「名門校に学ぶ利点と責任」と題してご講演を頂きました。その一部をご紹介します。

131周年、本当におめでとうございます。今日はお時間を頂戴して、「名門校に学ぶ利点と責任」という話を「なぜ勉強しなくちゃいけないの?」、次に「道徳って何だ?」、最後に「問いを問いとして抱え続ける強さ」という、大きく三つのテーマで話をしていきたいと思っています。

「なぜ勉強しなくちゃいけないの?」

何で勉強しなくちゃいけないんだろうか。人それぞれ答えがあればいいんだと思いますけども、基本的には、僕は、「勉強する」というのは、「本能」なんだと思いますね。人間は、空気を吸わずには、水を飲まずには、食べ物を食べずにはいられない。そして、本当は、勉強もせずにはいられない生き物なんじゃないかと思っています。で、本能ってことは、それが自分にとって、人間にとって、必要であるということ。これ、あくまで僕の考えですよ。

福沢諭吉が、こんな言葉を言っています。「世界万物についての知識を完全に教えることなどできないが、未知なる状況に接しても狼狽することなく、道理を見極めて対処する能力を発育することならできる。学校はそれこそをすべきところであり、ものを教える場所ではない」。その道理を見極めるには、勉強しなくちゃいけない。「目をよくする」ために。これは僕の表現ですよ。もちろん、この場合の「目」というのは、「洞察」とか、そういった意味です。「虫の目」、「鳥の目」、「魚の目」って。「虫の目」は、「物事をつぶさに細かく見る」。「鳥の目」は、「全体を俯瞰することができる」。物事の大局を捉えることができる。そして、「魚の目」は、「流れを読むことができる」。潮目を読むことができる。この三つの目を、勉強によって鍛える。そして、初めて出会うような状況にも、「あ、これはこうなってるぞ。細かく見たらこうだし、大局を見たらこうだし、流れていけばこう行くはずだ」、そういう判断力を持って、次に自分が何をなすべきかを判断する、そのための目を鍛える。そんな意味があるんじゃないかなと思います。

「家付き酵母」

「目をよくするために、皆さんは勉強するんだよ」と言いましたけど、教科書に書いてあることや先生が言葉を使って教えてくれることって、言語的なんですね。これだけで「生きる力」が100パーセントできるかという、実はこれ、半分でしかないんです。もう一つは、この勉強で得られるような言語的なスキル、もしくは「認知スキル」に対して、「非認知スキル」という、テストなんかでは測れない能力が、実は人生を大きく左右する。その非認知スキルというのを、私は「家付き酵母」と言うのです。家付き酵母って分かるかな。お酒とか味噌の。今でこそ酵母の力によってそれらができていることが分かってるんですけども、江戸時代はそういう知識はなかったんですね。「全く同じレシピで作っても、場所が違えば同じ味にならないのは、なぜだろう?」。昔は「神様が宿ってくる」と言われたんですが、その正体って、実は、家付き酵母なんですね。建物の中に酵母菌が住み着いていて、これが味噌や醤油に風味を加えていたんですね。こういうもの。非言語的に「生きる力」に「風味」を与えるもの。一般に材料を入れるだけじゃなくて、更にそれを美味しいものにしていく、これが「家付き酵母」、そして今日のテーマ「名門校に学ぶ利点」。

ここは131周年の名門校です。この学校にも家付き酵母というのが住み着いているんです。それは別の言葉で言うと、名門校の「ハビトゥス」ですね。「習慣」とか「習わし」とか、そういう言葉です。この学校にいただけで、「山東らしさ」みたいなのが染み付いちゃうっていうのかな。それが、「名門校のハビトゥス」。

例えば、結城豊太郎先輩っていう凄く偉大な先輩をこの学校から輩出しているんですけども、自分とは全く関係のない昔の人だと思いつつ、それでも、その結城先輩が成し遂げた成功体験は、この学校の文化の中に染み込んでいますね。そして、皆さんの中にも、実は既に染み込み始めている。そして、その成功体験は、この学校に古くから伝わる教育理念だったりとか、あるいは反骨精神だったりとか、もしくは自分に克つ力とか、自由を追い求める力とか、学校によって色々ですけども、そういう、過去からずっと引き継がれてきた価値観というのは、その学校の空気の中を漂っている。それを毎日吸っている君達の中には、「家付き酵母」みたいなのが住み着いている。この「非言語的なもの」を自分のものにできるっていうのが、実は、名門校に通っている人達の利点、特権なんですね。

ただ、やっぱり世の中に還元しないとイケないんですね。だから、大人になって、吸い込んだこの「家付き酵母」の力っていうのを、できるだけ社会に還元する。それが一つ目の、利点だけでなく、「責任」なんですね。皆が皆、この空気を吸い込める訳じゃないんです。ここに来たくても、残念ながら入れなかった、不合格になっちゃった子ってたくさんいると思うんです。その子達の方も、山東の家付き酵母を吸って、世の中でたくさん増やして、撒き散らし

てほしい。それが皆さんの責任とすることができると思います。

「道德って何だ？」

これもね、僕の考えなので、皆さんも自分なりに考えていかなければいけないんですけど、自分が属している共同体と、そして個人と、どちらも当然大切ですよ。自分の自由にやりたいし、好きなことをやりたい。だけど、個人が好き勝手やっていたら、共同体は崩壊してしまうということもある。逆に、共同体の言いなりになってばかりいたら、個人は殺されてしまう。そのバランスがとっても難しい。どうやってバランスをとったらいいんだろうかっていう時に、この「道德」、こう、「折り合いをつける」というのが、一つの道德とか、倫理とかの意味なんじゃないかな。「共同体と個人と両方の価値を最大化」する。「ここは個人の方がちょっと抑える。だけど、ここは個人が自由にしていっていいや」、そういうグレーゾーンを判断する気持ちが「道德心」なんじゃないかなって思います。

この「共同体と個人のバランス」、両方を最大化するためにどう自分が振る舞えばいいか常に自問自答して苦しむことに、答えは出ないんです。毎日毎日、毎回毎回、判断しなければいけない。その辛さを耐えられる人というのは、本当の意味での社会のリーダーになれます。これは僕の考え。そういった社会のリーダーとしての責任、「この世の中を良くするために、そして自分自身の自己実現を果たすために、どうしたらいいんだろうか？」ということをや常に悩み続ける。そういう責任を皆さんは、その気がなくとも、既に引き受けてしまったんですね、この山東に入ったことによって。それが名門校に入った人達に課せられた使命、主だった仕事。この、先程の「山東のハビトゥス」の中に、道德心とか倫理観という、言語にできないものがあるんです。これ、ハビトゥスの物凄く重要な点。

「問いを問いとして抱え続ける強さ」

「なぜ勉強しなくちゃいけないの？」に正解はありません。「道德って何だ？」にも正解はありません。今、僕が皆さんにヒントとして与えましたけども、皆さんの中には、多分、答えがあるんです。「答えがある」というのは、答えがあるんだけど、そこにはたどり着けない。僕も今、こんな話をしているけども、もしかしたら、来年には考え方が変わっているかも知れない。そうやって変化する。その「問い」が、常に僕の中にはあります。「なぜ勉強しなくちゃいけないのだろうか？」、「教育って何だろうか？」、「学校には、一体どのような価値があるのだろうか？」、そういうことを問い続けています。

問いを抱え続けるって、辛いんです。答えが出ないものをずっと持ってるって、嫌じゃないですか。なんだけど、それに耐えられる人っていうのが、これからの世の中のリーダーになっていくんじゃないかなと思います。でも、面倒臭いですよ。「自分で決めちゃった方が早い」、そういうシーン、たくさ

んあると思います。で、優秀な人ほどそう思うと思います、「いちいち聞いてらんないよ、こんな奴らの話」。だけど、そこでやっぱり踏みとどまる。踏みとどまることができ、皆の意見を聞くことができる。それが、皆さんに課せられた一つの責任なんじゃないかなと思います。

脳味噌に汗をかきながら読むような読書体験が、「問いを問いとして抱え続ける強さ」を鍛えることにもなるんじゃないかな。読書だけではないと思いますよ。色んな部活とか、行事とか、そういったところも、「問いを問いとして抱え続ける強さ」、「あの時どうすればよかったのだろうか？」、「皆のことをどうやってまとめたらいいのだろうか？」という強さを鍛えるんじゃないかな。これこそが、正解のない時代を生きていくために必要なこと。テストでは、早く正解を出すことが必要かも知れませんが、これからの社会のリーダーっていうのは、答えを出さない人。そういう人が求められてるんじゃないかなって思います。

究極の「生きる力」

人生の決断は、損得感情では、ごく一部しか見えていない。そのごく一部だけで判断したら、誤ることが多い。ではなくて、決断をすることを恐れないことです。

決断の良し悪しは、決断した時の判断力と情報量が決めるんじゃなくて、決断した後の努力が決めるんです。決断をした後「よりよい決断をしたな」と努力しなかったら、それは駄目な決断になってしまいます。不利な決断をしてしまったかも知れない、他人から見れば、だけどその後に「何が何でもこれを成功させるんだ」としたら、それは良い決断になります。決断の良し悪しは後から決めるということをや、覚えて頂けたらなと。

要するにね、「どんな失敗があっても、全てを糧にする力」。これは、究極の「生きる力」なんじゃないかな。そしてこれが、言葉では教えられないんですよ。非言語的に伝わっていく。そういうハビトゥス、まさにハビトゥスが、非言語的に伝わる空間。そういう今を、皆さんは生きているのかな。堂々と生きていって頂ければ、皆さんの人生も豊かになるし、社会全体も豊かになるとと思いますので、頑張ってください。



体 育 部

母 校 近 況

文 化 部

平成27年度の各部の主な成績を御報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

■ 全国高校総体

フェンシング	男子団体	出 場
	女子団体	出 場
	男子フルーレ	出 場
	男子エペ	出 場
	男子サーブル	出 場
体操	男子個人総合	出 場

■ 国民体育大会

なぎなた	少年試合	寺澤 裕夏	出 場
------	------	-------	-----

■ 東北高校総体

フェンシング	男子サーブル	山崎 匠	第2位
	女子サーブル	齋藤里羅子	第5位
	女子エペ	川口 和奏	第7位
	女子サーブル	阿部 淑乃	第7位
陸上競技	男子走幅跳	茂庭 佳秀	第8位

■ 東北新人大大会

陸上競技	男子走幅跳	茂庭 佳秀	第4位
	女子100m	佐藤 由菜	第5位
	男子八種競技	齋藤 恒	第7位
体操	男子個人総合	柴田 健久	第8位

■ 県高校総体

フェンシング	男子団体			第1位
	女子団体			第1位
	男子フルーレ	山崎	匠	第1位
	男子エペ	堀場	涼	第1位
	男子サーブル	山崎	匠	第1位
山岳	女子団体			第2位
ハンドボール	女子			第2位
フェンシング	女子エペ	川口	和奏	第2位
	女子サーブル	齋藤	里羅子	第2位
体操	男子個人総合	柴田	健久	第2位
テニス	男子団体			第3位
フェンシング	男子サーブル	小松	麟太郎	第3位
	女子フルーレ	齋藤	里羅子	第3位
	女子サーブル	阿部	淑乃	第3位
柔道	女子78kg級	遠藤	理瑚	第3位
水泳	女子800m自由形	渡部	里実	第3位

■ 県新人大大会

フェンシング	女子団体			第1位
	男子フルーレ	堀場	涼	第1位
	男子サーブル	小松	麟太郎	第1位
陸上競技	男子八種競技	齋藤	恒	第1位
体操	男子個人総合	柴田	健久	第1位
フェンシング	男子団体			第2位
ハンドボール	女子			第2位
フェンシング	女子フルーレ	阿部	淑乃	第2位
	女子サーブル	阿部	淑乃	第2位
陸上競技	男子走幅跳	茂庭	佳秀	第2位
山岳	女子団体			第3位
フェンシング	男子サーブル	吉田	雄真	第3位
	女子サーブル	伊豆田	理奈	第3位
陸上競技	女子100m	佐藤	由菜	第3位
	女子200m	佐藤	由菜	第3位
柔道	女子57kg級	上野	莉緒	第3位
	女子78kg級	遠藤	理瑚	第3位
水泳	女子400m自由形	渡部	里実	第3位

平成27年度も実り多き1年でした。各部の主な成績をご報告申し上げます。引き続き応援よろしくお願い致します。

■ 演劇

第42回山形県高等学校演劇合同発表会	最優秀賞
第48回東北地区高等学校演劇発表会	優秀賞・第一席
(春季全国高校演劇研究大会に出場)	
創作脚本賞	安孫子陶「隧道」

■ 文芸

第38回全国高等学校総合文化祭文芸部門俳句部門	梅村 泰拓
県高文祭 散文部門	渡邊 春華
散文部門	佳作・来年度全国高総文祭出場
短歌部門	最優秀・総合文化祭賞
	渡邊 春華
	保科 佳歩

■ 新聞

第38回全国高等学校総合文化祭新聞部門	参加
第36回山形県高等学校新聞コンクール	優秀賞(第2位)

■ 科学

「科学の甲子園」県大会予選	総合第2位
---------------	-------

■ 音楽

全日本合唱コンクール山形県支部大会	銀賞
-------------------	----

■ 吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール山形県大会	金賞
全日本吹奏楽コンクール第58回東北大会	銅賞
第21回日本管楽合奏コンテスト全国大会	最優秀賞
全日本アンサンブルコンテスト山形県大会フルート4重奏	金賞(東北大会出場)
トランペット4重奏	銀賞

■ マンドリン

山形県高等学校総合文化祭 器楽管弦楽部門	出場
----------------------	----

■ 数学

山形県数学コンテスト	加賀 凜大 最優秀賞
------------	------------

■ 美術

第68回村山美術総合展出品天童市文化団体協議会	田代 琴見 会長賞
「イジメ・非行をなくそう」やまがた県民運動シンボルマーク部門出品	小林 さくら 優秀賞

■ 書道

第57回全国書道展(大東文化大学主催)	高橋 美波 特選
---------------------	----------

■ 写真

高文連第15回フォトコンテスト	阿部 智之 審査員特別賞
-----------------	--------------

■ 囲碁将棋

県高校将棋選手権大会	男子団体 優勝(全国高文祭出場)
	女子団体 優勝(全国高文祭出場)
第24回全国高等学校文化連盟将棋新人大大会	出場
県高校囲碁選手権大会	男子団体 優勝(全国高等学校囲碁選手権大会出場)
武田 華門	男子個人第1位(全国高等学校囲碁選手権大会出場)
五十嵐 風	女子個人第1位(全国高等学校囲碁選手権大会出場)
全国高総文祭囲碁部門	山形県団体 穴戸 雅治 出場
第39回山形県高等学校総合文化祭囲碁専門部大会	男子個人 武田 華門 第1位
第29回東北地区高等学校囲碁選手権大会	男子団体 穴戸 雅治 第5位

■ 放送委員会

NHK杯全国高校放送コンテスト	アナウンス部門 藤城 莉子 奨励賞
	テレビドキュメント部門 奨励賞

■ 山形県高校放送コンテスト

アナウンス部門	藤城 莉子 第2位・高文連賞(H28年全国高総文祭出場)
アナウンス部門	大沼 尚 第4位(東北大会出場)
朗読部門	土谷 美有 第5位(東北大会出場)
テレビキャンペーン部門	優勝(東北大会出場)
ラジオキャンペーン部門	第2位(東北大会出場)

■ J R C

災害ボランティア・コーディネーター育成研修会	参加
------------------------	----

■ 家庭科

牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会	清野結友子 優良賞(第3位)
--------------------	----------------

第66回卒業会名

とう ろく かい
東 禄 会

【命名の由来】

創立131年、山形県立山形東高等学校として66回目の卒業に際し、我々は決意する。

戦後70年、平和で幸福な世に在ることを喜びの勲章とし、日本の未来を拓く当事者・有権者としての使命を全うしていくことを。「多く見て殆きを闕き、慎みて其の余りを行えば悔い寡なく、行いに悔い寡なければ、禄其の中に在り。」(『論語』「為政第二」)の言の如く、多くの見聞を積み、悔いなく自信に満ちた偉才としての道を歩む。

先輩諸氏が築き上げてきた「文武両道・質実剛健・自学自習」の伝統を、高い志と共に実践し続けていく誓いのしるしとして、ここに「東禄会」と命名する。

(原案者 3年1組 矢野 栞・3年3組 工藤尚哉)

おもな大学の合格状況

勲東会 (平成27年3月卒業)

数学と理科が新しい教育課程に対応した初年度の入試であったが、センター試験では、数ⅡBが39.3点と過去最低を記録し、旧課程数ⅡBも50点を割り込み49.9点であった。また新課程「生物」と旧課程「物理Ⅰ」の平均点の差が20点を上回ったため、17年ぶりに生物で得点調整が行われた。国語は、過去最低の98.7点を記録した昨年より、119点と正常化した。国語の易化は数ⅡB等の難化を上回り、わずかであるが全体の平均点を押し上げている。また近年続いていた「文低理高」人気の傾向は、就職状況の改善によるものか、今年になってようやく歯止めがかかったが、全国的にみると、工学部の人気は根強い。

今春本校の卒業生は現役進学者数162名(69.8%)、うち私立39名、浪人68名という結果で、現浪7割3割という比率は最

近変化なし。東大志願者が10名を割った昨年であったが、今年は文系15名とV字復活した。しかし理系受験者5名と、センター直前の志願者数から激減した。結果、文系3名・理系2名の合格。文系不合格者の数名は1～3点の僅差で涙を吞んでいる。理系の上位層を作ることが課題である。開示点数・再現答案研究会などの指導環境は揃っている。東大二次力の指導、理系全体の底上げ・上位層指導など構造的な問題があるのでは。東北大理系学部は近年難化している。合格者38名で40名を割った。東北地方の占有率はここしばらく4割を切り、山形県は今年上位10位から落ちた。特に工学部は関東からの受験者が増加し、東北勢が苦戦している。文系学部は易化傾向が続いている。医学部は山医が今年から地域枠を導入したが、前期枠に含まれているのでセンターでの得点が必要。8名枠に本校から現役3、浪人4の7名が占める。一般推薦も4名合格と例年を大きく超え、山医は現浪15名という快挙である。しかし他大学医の合格者は東北大医1名のみ。私大は地方受験、全学部一括受験などを利用して受験者数が増え続けている。

平成26年度 全大学合格者数(延人数) 単位：人

【国立大学】

大 学	人 数
北 見 工	1
北 海 道	3
弘 前	2
岩 手	2
宮 城 教 育	2
東 北	文 10
	法 4
	経 8
	教 1
	工 7
	医 1
	保 5
	薬 1
	農 1
山 形	全 38
	医 8
	全 11

大 学	人 数
秋 田 田	1
茨 城	1
筑 波	5
宇 都 宮	2
埼 玉	4
千 葉	1
お 茶 の 水	5
東 京	文 3
	理 2
	計 5
電 気 通 信	2
東 京 外 語	1
東 京 学 芸	3
東 京 農 工	2
横 浜 国 立	2

大 学	人 数
新 潟 潟	19
静 岡	1
名 古 屋	1
京 都	1
京 都 教 育	1
広 島	1

【公立大学】

大 学	人 数
宮 城 城	1
秋 田 県 立	1
山形県立保健医療	1
高 崎 経 済	1
都 留 文 科	1
首都大東京	2

【私立大学】

大 学	人 数
東 北 福 祉	2
東 北 薬 科	1
青 山 学 院	6
慶 應 義 塾	6
芝 浦	8
昭 和 薬 科	1
成 蹊	2
専 修	2
中 央	16
東 京 女 子	7
東 京 農 業	4
東 京 理 科	7
東 邦	1
東 洋	4
日 本	4
法 政	16
星 薬 科	1

大 学	人 数
明 治	30
明 治 薬 科	3
立 教	4
早 稲 田	11
北 里	3
同 志 社	2
立 命 館	1
そ の 他	41

【計】

大 学	合 計
国 立 大 学	124
公 立 大 学	7
私 立 大 学	183
(国公立医学科)	9
(私立医学科)	0
合 計	323

全大学の合格者は山形東高のホームページ(<http://www.yamagatahigashi-hed.jp>)の「進路指導」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

東緑会 (平成28年3月卒業)

東大・京大推薦入試が話題になった年であり、新テスト導入等に関する様々な情報も飛び交う1年であった。東大は受験者12名中6名合格。過年度生3名で合計9名であった。文Ⅰ、3名は中々出せない立派な数であるが、理系現役が4名出願の1名合格はさびしい限りである。東北大は現役33名過年度10名で計43名、今年は文学部が受験者12名中3名のみの合格で大変厳しかった。現役が40名を割るのは去年に引き続きである。県内を見ても10名を超す高校は他に1校だけである。今後は東北大対策にも腐心せねばならない状況になりつつある。医学部は東北大医現役2名過年度1名の計3名、山医は現役5名過年度7名の計12名(うち地域枠は4名)で、去年に引き続き好成績をあげた。地元・現役志向も強く山大人文系受験者が増えたが合格は半分の4名にとどまった。主な大学の合格数は京大1・埼玉4・筑波大4・お茶大1・東京外大3・東京学芸大4・新潟大7などである。

平成28年度

同窓会総会・表彰式・まつり

◆ 日 時：平成28年10月28日(金)

総会は午後5時30分より

※例年より開催日が遅くなりましたので、ご留意下さい。

◆ 会 場：メトロポリタン山形

◆ 会 費：5,000円(予定)

チケット購入は各学年の評議員(同窓会役員欄を参照)にお申し込み下さい。

◆ 当番幹事：共一会(山東29回)

東暁会(山東51回)

第61回体育部OB会総会

第61回体育部OB会総会・懇親会が2016年2月2日(火)、山形グランドホテルで開かれました。今年は水泳部とサッカー部が幹事クラブを務め、卒業生に招待、教職員を合わせて約330人が出席。総会に続いての懇親会では、昨年4月に就任した森谷寛会長(山東17回、卓球部)が「母校生徒の支援とともに、OBの親睦融和に全力を尽くす」とあいさつ、菅間裕晃校長に激励金を贈呈しました。浜田敏同窓会会長の祝辞に続き、本年度の功労者表彰を行いました。

受賞したのは野球部から会田茂夫(山東15回)、山口道雄(19回)、山岳部の安部忠昭(10回)、弓道部の三浦秋夫(20回)、卓球部の荒木真路(24回)、バレーボール部から小川洋一(16回)、小池徹(17回)、武田正男(同)、渡辺等(同)、和泉政夫(同)、フェンシング部の伊藤篤市(23回)、応援団の渡部和行(32回)、バドミントン部の多田一夫(16回)、水泳部の長沼隆(18回)の各氏、そして学校関係者として赤井芳賀寿、石澤惣栄、奥山和司、丹野学の4氏。代表して安部先輩が森谷会長から賞状と記念メダルを授与され、「これから頑張れという意味の功労賞と受け止めている。できる限り活動する」と謝辞を述べられました。

乾杯の後には和やかに交流を楽しみ、日本酒「おお勝利」を中心とした酒を酌み交わし、所属した部の枠を超えて会話を弾ませていました。というところで、会場にカンパの要請がアナウンスされ、法被姿の担当OBが箱を持って回ります。実はこの日、受付でプログラムとともに「山東生の全国大会・東北大会出場を支援する協賛金のお願い」文書が配られました。昨年の山東生は全国・東北へとつながる目覚ましい活躍が相次ぎ、出場者への補助金が不足する緊急事態ということです。体育部OB会らしく気合と勢いで現金を集めてしまおうと展開されたカンパ運動でした。

会場内を回ったカンパ箱は直後に開かれ、集計の結果、232,000円の現金が集まりました。金額は懇親会の席上で披露され、そのまま幹事クラブの水泳部、サッカー部の代表から菅間校長に贈呈されました。

楽しさを満喫した懇親会もほぼ終了。次期幹事クラブとしてスキー部、応援団が紹介され、応援団OB全員登壇の指揮下、全参加者が「おお勝利」を熱唱した後、万歳三唱で締めとなりました。次期の第62回も2月2日の固定日開催を予定しています。

(山東25回サッカー部 寒河江努 記)



水泳部とサッカー部が幹事クラブを務め、卒業生に招待、教職員を合わせて約330人が出席。総会に続いての懇親会では、昨年4月に就任した

第23回山東文化部OB会

平成27年7月23日(木)、ホテルメトロポリタン山形に於いて「第23回山東文化部OB会総会」が、浜田敏同窓会会長はじめ多くの来賓のご臨席のもと多数の会員が集い盛大に開催されました。総会においては、吉田眞一郎会長が議長となり、前年度の事業及び決算報告、役員改選、そして本年度の事業計画と予算が審議され、可決承認されました。新役員は以下の通りです。

会 長：吉田眞一郎

副 会 長：坂部 忠彦 伊藤 吉明 黒木 誠司

幹 事 長：武田 信博

副幹事長：高橋 一夫

監 事：佐藤 喜成 遠藤 涼一 尾形 源二

以上のメンバーで吉田会長を中心に2年間OB会を運営してまいります。

総会後の記念講演では、第16回卒・竹馬会の氏に講演をお願い致しました。細谷亮太氏は現在聖路加国際病院・顧問として、また執筆、講演活動と多忙を極めております。演題「こどものいのちの傍らで」の中では子どものこと、命の大切さなどを東高時代の話を交えながらお話してくれました。大変心温まる講演会となりました。

その後、懇親会に移り同窓会長、学校長の挨拶体育部OB会会長の乾杯で会員同士が和気藹々の懇親を深めました。席上恒例の音楽部による合唱などもあり大いに盛り上がりしました。今回竹馬会の皆様には講師への紹介また講演会・懇親会に参加いただき誠に有難うございました。

当番幹事でありました写真部、美術部、園芸部の会員の皆様ご苦勞様でした。次回第24回総会当番部は、郷土研究部、語学部、書道部になりますが、若返りを図りながら多数のOB会員の出席を期待しております。

(幹事長 武田信博 記)





東八会

同じ高校に学んだ古き良き友と今尚も誼を通じ、胸襟を開き語り合えるということは人生最高の喜びである。「あ、我が紅顔未来の光…」昭和33年(1958年)爛漫の春に母校を後にしたのは、もう60年近くも前のこと。

私達、第八回卒同期生「東八会」は幸せである。稀に見る仲の良い学年と自負している。昨年10月16日の同窓会まつりで、船山龍二君が村木章克君作成のビデオで説明したように、毎月の月例会の他、東京支部「燦々会」、仙台支部の例会等を定期的に行っている。また、折々のイベントも行い、「遅れてきた修学旅行」はもう5回もヨーロッパ旅行に出かけている。

平均寿命とか、健康寿命とかという話題はあまり意識したくない。



遠慮なく話し合い、何でも語りあえる友がおり、学友ドクターが健康相談にのり、共に齢を重ねあえるとはなんとも素敵なお巡りの人生であろうか。其々のパースナリティ、特技を持つ友達と、過ぎて来た道程は其々でも、これからも長く、楽しい人生になるよう歩んで行きたいものである。

今年は2年に1度の東八会総会の年に当たっている。1年遅れではあるが「喜寿の会」とし、記念式典も行う。沢山の参加者があることだろう。また互いに元気をもらえることだろう。



各同窓会だより

Pert. 1
(順不同)

◇上山山形東高等学校同窓会

平成28年1月24日に葉山館において第64回親睦同窓会を33人の参加のもと開催しました。ご来賓として、浜田同窓会会長、菅間校長、渡邊事務局長をお迎えし、校歌斉唱の後、高村和夫氏(東2回卒)に議長をお願いしました。役員改選では、鈴木暁副会長(東5回卒)が退任し、新たに木村勲氏(東10回卒)が副会長に選任されました。

総会後の親睦会では、和やかな時間を過ごした後、来年の再会を誓って散会となりました。(江口敏昭 記)



◇山形市役所東高会

山形市役所東高会は総勢137名が一丸となり、市勢の発展のため、日々頑張っております。

さて、当会では会員の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしております。

昨年5月29日に開催した総会では、菅間校長先生、浜田同窓会長、今野同窓会事務局長からご臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりしました。

また、今年1月29日に開催した新年会では、今

年度をもって退職される会員の方々を囲み、思い出話に花を咲かせました。

これらを通じ、会員同志の絆をさらに深めたところであります。

◇東根支部

東根支部の活動は、今のところ年1回の懇親会兼総会だけです。回数を重ねますと段々と同じような顔ぶれになってくるのですが、今回は違いました。開催は平成27年7月29日(水)、学校の夏休み期間に設定、先生方の声掛けもあり、会員参加42名、うち40%が過去10年間では初参加の方でした。

参加者の年齢層は、60歳以上が29%、4、50代が57%、30歳未満が14%であり、決して大先輩方が多いわけでもないの、市内にお住まい又は勤務の方、職域を越えての刺激の場としてなど、お気軽にご参加いただきますようお願い致します。

(幹事長 森谷健 記)

◇仙台同窓会

仙台同窓会は11月6日(金)、来賓に同窓会本部の浜田会長と母校の菅間校長先生をお迎えし、総会を開催いたしました。総会では土田会長(山東7回)を議長に、会務報告、会計報告、役員改選と滞りなく議事が進み、新役員として土田会長が顧問に、大山氏(同12回)が会長に、田苗氏(同24回)が副幹事長に、向田氏(同33回)が会計監査に就任されました。引き続き開催された懇親会では、はなぶさ真二先輩(同13回)のカラオケオンステージに土田顧問が飛び入り参加、出席者全員参加のじゃんけん大会など、大いに盛り上がり、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。(白岩真 記)

平成27年度 予算執行状況

(平成27年4月1日～平成28年1月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額			収入額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	7,000,000	△203,000	6,797,000	4,265,000	ゆうちょ銀1,557件、コンビニ844件
入会金	696,000	0	696,000	696,000	3,000円×232名
積立金より	950,000	0	950,000	950,000	
繰越金	224,904	0	224,904	224,904	
雑収入	400	19,986	20,386	20,386	利子、寄附
合計	8,871,304	△183,014	8,688,290	6,156,290	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額			支出額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	110,000	△20,000	90,000	88,094	資料印刷、案内送付等
会議費	600,000	0	600,000	369,551	役員会、評議員会
表彰費	550,000	△90,000	460,000	454,394	表彰状、喜寿記念品 6,000円×33人等
会報発行費	950,000	0	950,000	0	16,500部
通信費	2,170,000	20,000	2,190,000	2,157,951	会報送付、NTT、切手、葉書
慶弔費	200,000	0	200,000	84,650	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	50,000	0	50,000	50,000	事務局員費
生徒活動費	200,000	40,000	240,000	200,000	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	0	30,000	9,458	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	850,000	△150,000	700,000	637,174	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費等
資料整備費	50,000	△50,000	0	0	
事務費	1,600,000	90,000	1,690,000	1,401,897	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,000,000	0	1,000,000	0	山東教育後援会へ
積立金	100,000	△100,000	0	0	
振込料金	300,000	0	300,000	176,612	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	111,304	76,986	188,290	0	
合計	8,871,304	△183,014	8,688,290	5,629,781	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である。

平成28年度 予算(案)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
維持会費	6,900,000	7,000,000	△100,000	
入会金	711,000	696,000	15,000	3,000円×237名
積立金より	800,000	950,000	△150,000	
繰越金	200,000	224,904	△24,904	
雑収入	400	400	0	
合計	8,611,400	8,871,304	△259,904	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
総会費	110,000	110,000	0	資料印刷、案内送付等
会議費	600,000	600,000	0	役員会、評議員会
表彰費	550,000	550,000	0	表彰状、記念品
会報発行費	950,000	950,000	0	16,500部
通信費	2,170,000	2,170,000	0	会報送付、NTT、切手、葉書
慶弔費	200,000	200,000	0	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	50,000	50,000	0	事務局員費
生徒活動費	200,000	200,000	0	全国大会出場激励お祝い
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
連絡費	800,000	850,000	△50,000	支部総会お祝い、若手学年支援、旅費
資料整備費	50,000	50,000	0	校史資料整備
事務費	1,400,000	1,600,000	△200,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,000,000	1,000,000	0	山東高教育後援会へ
積立金	100,000	100,000	0	
振込料金	300,000	300,000	0	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	101,400	111,304	△9,904	
合計	8,611,400	8,871,304	△259,904	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である。

山東奨学会

平成27年

- 2月18日 第2回理事会
平成26年度補正予算承認
平成27年度事業計画
平成27年度予算承認
- 3月18日 奨学生審査会
- 3月26日 奨学金贈呈式
2名に贈呈
- 5月15日 第3回理事会
平成26年度事業報告承認
平成26年度決算報告承認
理事候補者の選任
評議委員会の開催期日等決定
特定資産の運用方法承認
- 6月8日 第2回評議員会
平成26年度事業報告承認
平成26年度決算報告承認
理事の選任
特定資産の運用方法承認
- 6月16日 第4回理事会
常務理事の選任

慶

(同窓会報67号掲載以降～平成28年2月15日まで)

平成27年

- 2月27日 瑞宝双光章
山口 友治氏 (山東1回)
- 4月29日 旭日重光章
阿部 正俊氏 (山東11回)
- 4月29日 瑞宝中綬章
長塚 康弘氏 (山東3回)
- 4月29日 瑞宝中綬章
加川 幸雄氏 (山東4回)
- 4月29日 瑞宝小綬章
山川 博史氏 (山東11回)
- 6月30日 瑞宝小綬章
五十嵐和夫氏 (山中58回)
- 9月1日 厚生労働大臣表彰
大内 清則氏 (山東15回)
- 9月4日 瑞宝小綬章
二藤部邦幸氏 (山東6回)
- 10月20日 瑞宝小綬章
佐竹 俊明氏 (山東23回)
- 10月31日 上山市文化芸術功労者表彰
片桐 繁雄氏 (山東2回)
- 11月3日 旭日小綬章
押野 宏氏 (山東13回)
- 11月3日 旭日小綬章
園部 稔氏 (山東10回)

祝

- 11月3日 瑞宝小綬章
小原 正隆氏 (山東11回)
- 11月3日 瑞宝双光章
佐竹 紘氏 (山東14回)
- 11月24日 教育者文部科学大臣表彰
齊藤 隆氏 (山東25回)
- 11月27日 瑞宝双光章
滝田 泰雄氏 (山中58回)
- 平成28年
- 1月5日 山形市民文化賞
佐藤 寛介氏 (山中60回)
- 2月20日 司馬遼太郎賞
飯嶋 和一氏 (山東21回)

篤志寄付

(同窓会報67号掲載以降～平成28年3月3日まで)

平成27年

- 5月29日 図書購入費10万円
山形市役所山東会

平成28年

- 2月19日 教育奨励費20万円
山形県庁東高会
(部活動費10万円、図書購入費5万円、
奨学会基金5万円)
- 3月3日 山東奨励会への基金10万円
東京同窓会懇親会における祝賀販売の収益金
山形中学山形東高東京同窓会

平成28年度 同 窓 会 役 員

役 員

会 長	浜 田 敏	山東17回
副 会 長	佐藤 松兵衛	山東19回
"	矢野 秀弥	山東21回
"	鈴木 隆一	山東23回
幹 事 長	桂 木 宣均	山東29回
副 幹 事 長	高 嶋 清彦	山東34回
"	川 上 聡子	山東36回
幹 事	高 橋 勝幸	山東18回
"	永 井 毅	山東30回
"	清 野 寿啓	山東35回
"	長谷川 浩一郎	山東38回
"	中 村 祥介	山東39回
"	伊 坂 陽之介	山東41回
"	坂 部 経洋	山東47回
"	丹 野 茉依	山東51回
監 事	長谷川 明美	山東53回
"	伊 勢 和正	山東17回
事務局長	渡 辺 季子	山東25回
顧問		山東23回
鈴 木 寛	第9代会長	
結 城 章 夫	元山形大学長	
遠 藤 來 二	第29代校長	
國 分 三 昭	第31代校長	
日 野 正 昭	第33代校長	
木 村 幸 史	第34代校長	
山 川 博 史	第35代校長	
佐 藤 敏 彦	第36代校長	
伊 藤 和 夫	第37代校長	
勝 見 英 一朗	第38代校長	
相 馬 周 一郎	第39代校長	
渡 部 泰 山	第40代校長	
柳 谷 豊 彦	第41代校長	
相 談 役		
森 谷 寛	体育部OB会長	山東17回
吉 田 眞 一郎	文化部OB会長	山東17回

評 議 員

山中55回	昭南	設 樂 隆
山中57回	御楯	勘一郎
山中58回(4)	銀河	久男
山中59・60回	太平	良助
山中61・一高回	六一	宗孝
山中62・一高回	ふたば	度一
山東1回	東一	雅光
山東2回	東友	貞夫
山東3回	東三	健夫
山東4回	東四	大 江
山東5回	古稀	大 串
山東6回	六翠	小 松
山東7回	一行	真 田
山東8回	東八	深 瀬
山東9回	東鳩	伊 藤
山東10回	東濤	逸 見
山東11回	東士	斎 藤
山東12回	東睦	井 上
山東13回	三山	秋 葉
山東14回	龍雲	大 場
山東15回	笑龍	斎 藤
山東16回	竹馬	多 田
山東17回	六七	秋 保
山東18回	東哉	伊 藤
山東19回	鵬雲	滝 口
山東20回	翠巒	千 歳
山東21回	四六	後 藤
山東22回	主一	大 築
山東23回	志也	佐 藤
山東24回	東翼	高 橋
山東25回	九重	斎 藤
山東26回	互一	野 口
山東27回	東紋	高 橋
山東28回	天馬	伊 藤
山東29回	共一	江 袋
山東30回	東翔	浅 黄

山東31回	五六	児 玉 克 也
山東32回	槌音	鍵 水 功 泰
山東33回	繼世	村 形 弘 也
山東34回	双鬘	小 林 直 樹
山東35回	百東	荒 木 秀 一
山東36回	慧琥	赤 井 芳 賀
山東37回	鴻紀	青 木 秀 之
山東38回	東龍	小 嶋 秀 寛
山東39回	魁成	鈴 木 清 晃
山東40回	東駿	高 橋 祐 史
山東41回	翔洋	吉 村 和 武
山東42回	志成	高 原 謙 一
山東43回	東鵬	今 野 誉 義
山東44回	東阜	進 藤 義 悦
山東45回	百珠	黒 沼 芳 覺
山東46回	東玲	高 梨 洋 平
山東47回	東凌	阿 部 田 和 宜
山東48回	天成	丹 野 一 史
山東49回	東珀	佐 竹 め ぐみ
山東50回	雙紀	佐 竹 秀 文
山東51回	東暁	吉 田 昌 平
山東52回	東愛	鈴 々 木 貴 博
山東53回	東魂	佐 々 木 健 晴
山東54回	東粹	中 野 祥 子
山東55回	東節	武 田 弘 幸
山東56回	瑞雪	中 塚 峻 地
山東57回	和成	伊 藤 大 伸
山東58回	重友	武 部 龍 海
山東59回	結昇	阿 高 裕 一
山東60回	六黎	勢 継 永 悠
山東61回	榮翔	榮 桂 木 城
山東62回	榮繼	三 志 松 結 大
山東63回	六三志	
山東64回	天晶	
山東65回	勲東	
山東66回	東緑会	

地 域・職 域 同 窓 会

同 窓 会 名	会 長・支 部 長	事 務 局
中山山東京同窓会	佐 藤 憲 一	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 山形県東京事務所内
山形東高仙台同窓会	大 山 正 征	〒980-8550 仙台市青葉区本町1-7-1 東北電力(株)内グループ事業推進部 白岩真
関西山山山同窓会	菱 川 道 生	〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 山形県大阪事務所内
中山山東海同窓会	海 野 紘 治	〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町2-9-3
栃木県支部	塩 野 操	〒321-0141 宇都宮市さつき1-9-17
山形県庁東高会	青 柳 剛	〒990-8570 山形市松波2-8-1 山形県県土整備部建設企画課
山形市役所東高会	岩 田 雅 史	〒990-0047 山形市旅籠町2-3-25 山形市役所商工課
山形市歯科医師会山東会	西 村 修	〒990-2462 山形市深町2-4-14-2
酒田山東会	三 沢 英 一	〒998-0828 酒田市あきほ町659-6
田 川 支 部		
最 上 支 部	永 井 俊 一	〒999-6101 最上郡最上町大字向町618-2
尾花沢支部	富士盛 良 一	〒999-4225 尾花沢市若葉町3-16-20
大石田支部	織 江 祐 智	〒999-4116 北村山郡大石田町駅前通り2-25
村 山 支 部	服 部 智 彦	〒995-0034 村山市楯岡五日町7-21
東 根 支 部	石 山 泰 博	〒999-3795 東根市中央1-1-1 東根市役所財政課
天 童 支 部	森 谷 英 夫	〒994-0012 天童市久野本2-6-14
河 北 山 東 会	和 田 潤 一	〒999-3511 西村山郡河北町谷地戊81 河北町役場政策推進課
寒 河 江 支 部	大久保 晴 二	〒991-0031 寒河江市本町2-6-50
朝 日 支 部	多 田 積	〒990-1302 西村山郡朝日町玉ノ井甲114
山 辺 支 部	渡 辺 甚 一 郎	〒990-0331 東村山郡山辺町大寺453
上山山形東高同窓会	中 村 直 資	〒999-3171 上山市狸森1513
山形東高同窓会米沢支部	大久保 重 範	〒992-1123 米沢市万世町桑山4131

各同窓会だより

Pert.2

(順不同)

◇寒河江支部



平成27年10月31日土曜日、寒河江市のホテルシンフォニーにて総会を行った。総会後斎藤彰氏による「日本一周自転車の旅」の講演を行い好評であった。懇親会には浜田同窓会長、菅間校長先生も参加され大いに盛り上がった。最後に小松元応援団長指揮による「おお勝利」の合唱にて閉会した。

(事務局長 石川隆 記)

◇酒田山東会

第80回の酒田山東会総会は10月2日に開催されました。昨年同様に若手の方々にも多く参加していただき、22名が集まりました。浜田同窓会会長と菅間校長先生から母校の近況をお話いただき、皆興味深く、そして懐かしく聞き入っていました。校歌斉唱後、にぎやかな酒宴となり、老いも若きも大いに語り合い、各自の近況報告が行われました。最後に「おゝ勝利」を歌ってエールで終了となりました。なお、長らく酒田山東会の会長を務められた三沢英一様が、今年度限りで勇退されることとなりました。次期会長はまだ決まっておりませんが、引き続き酒田山東会を盛り上げていきたいと思っています。

(幹事長 岡田恒弘 記)



◇米沢支部

「七夕のころに会いましょう」のもと、今年も山形東高同窓会米沢支部総会が7月6日夜、米沢市の東京第一ホテル米沢で開催されました。当日は菅間

裕晃校長、浜田敏同窓会長、今野雅行事務局長を来賓としてお迎えして32名の参加者により盛会裡に終了しましたこと、会員の皆様ならびに幹事の皆様に感謝申し上げます。

総会に先立ち恒例の講演会が開かれ、『山形県産日本酒の魅力』と題して、昭和63年卒 米鶴酒造株式会社 常務取締役社長 梅津陽一郎氏からご講演をいただきました。

懇親会では、昭和38年卒業の高橋秀昭先輩の音頭で乾杯、伊藤和夫元山形東校長からの近況報告や同窓生の近況報告など、本当に楽しく拝聴しました。来年も多くの皆様に出席していただき、楽しいひと時をご一緒に過ごしたいと思います。

(支部長 大久保重範 記)

◇尾花沢支部

支部総会及び懇親会を、11月8日市内「ぼでごん亭」で開催しました。ご来賓に矢野秀弥同窓会副会長、須貝英彦教頭先生をお迎えし、また、大石田支部からも庄司喜與太副支部長、布川元幹事長にご出席いただき、総勢18名での賑やかな総会となりました。



総会では、副幹事長、副事務局長の新しい役職が新設され、それぞれ、徳宮龍男氏、三坂真治氏が選任されました。

今年も、星川薫事務局長の奮闘によって、初参加の会員も含め、若い会員多数の参加がありました。今回は、工藤正廣副支部長が、自分で栽培した長いもを持参し、参加者全員で、大変美味しくご馳走になりました。また、おひらきの後も会場に残って語り合う姿がみられ、とても楽しい会になりました。来年も、ぜひ多くの会員の参加をお待ちしています。

(幹事長 鈴木欣一 記)

◇山辺支部

昨年12月5日、浜田会長、菅間校長先生、渡辺事務局長に御出席いただき、町内の「三河屋」において節目となる第35回総会を開催しました。いつもは雪や氷雨の降る中での開催になりましたが、当日は珍しく晴天後の夕暮れを迎えました。

会員の出席者(かつては40名に迫る。ここ数年は急減し、20名に達せず。)は20名。一同、同窓会、学校の近況に耳を傾け、青春を過ごした学び舎に想いを馳せました。佐藤顧問の乾杯で始まった懇親会では、互いの来し方を肴に杯を傾け、旧友を温めました。なお、役員改選を行い、地区幹事1名を除き、渡辺支部長以下の役員が留任することになりました。

(幹事長 三浦繁則 記)

◇河北支部

平成27年度の河北支部総会は、町内の「紀の代寿司本店」にて9月25日に開催されました。ご来賓に同窓会本部の浜田会長と母校の菅間校長先生をお迎えし、母校の近況などをお話いただきました。

その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おお勝利」を合唱し、散会いたしました。
(事務局長 石澤広喜 記)



◇東海支部

平成27年度の東海支部総会が昨年11月14日に開催されました。本部より矢野副会長、母校より菅間校長に来賓として出席いただき、それぞれ本部同窓会と母校の現状について詳しくお話しいただきました。総会後の懇親会では出席者の近況報告が和やかな雰囲気の下で行われ、とくに前日連絡があり急ぎよ飛び入り参加されたCBC（中部日本放送）テレビの人気ニュース番組「イッポウ」のメインキャスターである大石邦彦君（平成元年卒）の話には「さすが・・・」と感心させられました。



平成28年度の支部総会は11月26日（土）に開催されます。会員の皆様方の参加を大いに期待いたします。
(会長 海野紘治 記)

◇大石田支部

雪が深々と降り積もる大石田らしい景色となった平成28年1月16日（土）恒例の支部総会が町内の人気そば店「手打ち大石田そば きよ」にて開催されました。ご来賓として鈴木隆一同窓会副会長、菅間校長、渡邊事務局長をお迎えし、また尾花沢支部より富士盛支部長、星川事務局長にご出席いただき、総勢24名での大変賑やかな総会となりました。懇親会では、昨年11月に再選された庄司喜興太町長（山東15回）にお祝いの花束が贈呈され



ました。その後各自の近況報告が行われ、最後に全員で「おお、勝利」を大合唱し、エール、万歳三唱の後、また来年の再会を誓ってお開きとなりました。
(事務局 戸田昇 記)

◇東京同窓会

昨年11月27日に東京ドームホテルで山形からの



恩師5名をお迎えして総勢226名による懇親会を開催しました。清酒山形正宗の鏡開きで始まり、恒例の芋煮と各卓に清酒「おお勝利」を配して山形ムードを演出しました。応援団OB OGのエールに続いての山東生クイズでは、在校生作成の最新問題も出題されましたが、見事20数名の方が勝ち残り頭脳パン他賞品を獲得しました。山東奨学会への寄付金付一合枰（写真左）にも多くの方にご協力を頂き、ありがとうございました。



◇栃木支部

2015年も場所を集まりやすさを考慮し宇都宮駅近辺のホテルニューイタヤにて実施しました。昭和23年卒の内ヶ崎さんも今年もお元気に出席いただきました。また、矢吹副会長より山形の幻の銘酒を今年も贈呈いただき、そのおいしさに驚嘆しながら痛飲し、山形や高校の思い出や栃木での体験の話で盛り上がりました。

本年は講演をやめ、皆様のスピーチの時間を長くとり、大いに盛り上がりました。最後に校歌「羽前の三山」と応援歌「おゝ勝利」を斉唱しました。来年は更に盛り上がるようにしたいと思います。

日時：2015年11月15日（日）12時～15時

場所：ホテルニューイタヤ内 割烹但馬

参加者：8名

(事務担当理事 武田康夫 記)



後列左より：佐々木さん(東高15)、阿部さん(東高9回)、鏡さん(東高10回)、武田(東高17回)
前列左より：加藤さん(東高9回)、塩野さん(一高2回)、内ヶ崎さん(山中61回)、矢吹さん(東高6回)



佐竹俊明 前校長を悼む

前校長佐竹俊明氏（山東23回・志也会）には病氣療養中でありましたが、平成27年9月25日永眠なされました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

佐竹前校長先生は平成25年4月に第42代校長として着任。平成27年3月までの2年間公務遂行の陣頭指揮をとられました。中でも平成26年の創立130周年に際しては、記念事業の推進、記念式典の挙行に見事な采配を振るわれました。

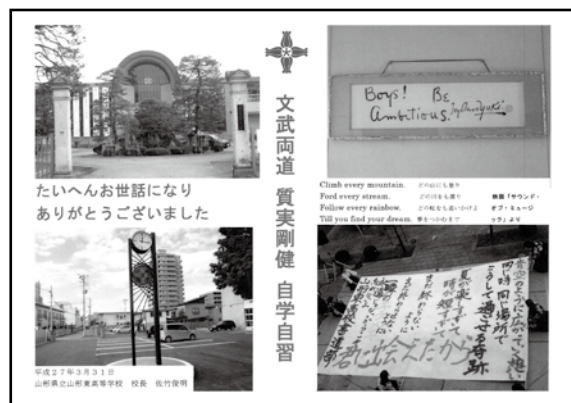
昨年9月28日に葬儀が執り行われましたが、各方面からたくさんの弔辞、弔電、供花が捧げられ、また、山東関係者、同窓生のみならず県内教育関係者など、300人を超す方々が参列されました。改めて、佐竹前校長先生が山東のみならず山形県の教育界のリーダーとして活躍され、各方面の方々に慕われていたことを痛感しました。どんなときも生徒のことを考え、どんな立場でも教員に対する配慮を忘れない山形県にとって欠かせないリーダーでした。

最後に、同窓会事務局だよりに掲載しました「佐竹前校長先生の伝えたかったこと」を記載します。

定年退職を迎えられた佐竹校長がいつも通り、にこやかに挨拶を始めると、講堂の中に音楽が流れ出した。放送係がミスをしたのかと一瞬ざわついたが、そうではなかった。係の生徒に頼んで、さだまさしの曲を流してもらっていたのだ。さだの歌声が静かに流れる中で、映画「風に立つライオン」の主人公の言葉を引用して、生徒達に別れと励ましの言葉を贈った。そして、職員には、校内の風景を写した4枚の写真に添えて「たいへんお世話になり ありがとうございます」と印字されたシートが贈られた。

それらが単なる離任の言葉でなかったことに、私達は、今、気付かされた。葬儀における弔辞や喪主のご挨拶から、佐竹前校長先生は3月まで職務を全うすることを強く願い、その後で治療に専念する道を選ばれていたことを知らされたのである。覚悟をされた佐竹前校長先生は、私達に最後に贈る言葉を探して校舎を眺め渡したに違いない。シートに記された言葉の数々。校是「文武両道」「質実剛健」「自学自習」、元大蔵大臣結城豊太郎氏の母校訪問記念の書「Boys! Be Ambitious.」、書道部のパフォーマンス作品。

贈られた言葉が、伝えたかった言葉、遺したかった言葉に変わる。合掌。



佐竹前校長から贈られたシート

平成28年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」

- ◆ 日 時：平成28年8月27日(土)
山東祭の一般公開日／午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 参加者：東粋会(山東54回)
- ◆ 来 賓：学年担任の先生方
- ◆ 内 容：30歳を記念して母校を訪問し、恩師や仲間と楽しいひと時を過ごしてみませんか。多くの東粋会員の参加を、お待ちしております。

敬

弔

同窓会報67号掲載以降～平成28年2月17日
までに判明した方々です。ご冥福をお祈
ります。

平成22年

斎藤 鉄男氏 (山東10回)

平成24年

5月15日 半田 孔夫氏 (山中54回)

平成25年

5月16日 遠藤健一郎氏 (山東2回)

7月16日 佐藤昌二郎氏 (一高1回)

7月31日 加藤 正吾氏 (山東9回)

11月6日 三浦 (石川) 靖子氏 (山東2西)

平成26年

2月8日 今野 能志氏 (山東17回)

4月1日 石川 (伊藤) 嘉郎氏 (山中61回)

5月3日 居駒 恒雄氏 (山中59回)

6月2日 小関 五郎氏 (山東9回)

7月23日 岡崎 弘一氏 (山中58回)

7月26日 森谷 昌敬氏 (山東10回)

8月20日 小川 聚太氏 (山中58回)

9月9日 甌岳 郁男氏 (山中61回)

10月 小笠原貞夫氏 (山中58回)

10月10日 成見 玄氏 (山中55回)

10月25日 鈴木 哲夫氏 (山中56回)

11月6日 結城 善邦氏 (山東2回)

11月23日 上野 昭嗣氏 (山東3回)

平成27年

鈴木富美男氏 (山中59回)

1月 柿崎フジエ氏 (旧職員)

石井 勇氏 (山東11回)

1月3日 佐藤幸市郎氏 (山中49回)

1月18日 佐藤 進氏 (山中60回)

1月22日 荒井 富氏 (山東2回)

2月26日 青木 秀雄氏 (山中56回)

2月 今野 貴氏 (山東4回)

3月6日 古澤 昭氏 (山東9回)

3月8日 伊藤 健雄氏 (山東3回)

3月21日 鎮西 康也氏 (山中61回)

3月25日 片桐 (斎藤) 英男氏 (山東9回)

3月27日 工藤 透氏 (山中49回)

4月2日 佐藤 孝彦氏 (山東7回)

4月3日 里村 紀元氏 (山中57回)

4月4日 宮田 衛氏 (山東2回)

4月5日 佐藤 節子氏 (山中6回)

4月10日 鈴木 秀一氏 (山中59回)

4月14日 阿部 知良氏 (山中56回)

4月15日 五百川恒治氏 (山中55回)

4月23日 郡司 (土井) 礼子氏 (山東4西)

4月26日 小関 (亀井) 信子氏 (山東2西)

4月29日 佐久間 正氏 (山中60回)

5月2日 新関喜七郎氏 (山中52回)

5月3日 佐久間治男氏 (山中58回)

5月10日 安喰 隆美氏 (山東18回)

5月15日 石沢 政雄氏 (山中55回)

5月21日 柏谷 侃氏 (山中56回)

5月23日 村山 純一氏 (山中54回)

5月23日 佐藤俊比古氏 (山東7回)

5月26日 池田謙一郎氏 (山中57回)

5月31日 長谷川 (矢田目) トミ氏 (山東2西)

6月1日 渡邊 壽一氏 (山中61回)

6月10日 菅沼 正助氏 (山中46回)

6月11日 三沢忠一郎氏 (山中61回)

6月12日 朝倉 健氏 (山東7回)

6月16日 佐藤利右衛門氏 (山東1回)

6月19日 石原 将稔氏 (山東2回)

6月23日 熊坂 (北条) 恵水氏 (山中56回)

6月28日 渡邊 茂泰氏 (山東17回)

6月30日 渡部 晃久氏 (山東27回)

6月30日 奥山 一民氏 (山東10回)

7月9日 山田 (丹野) ムツヨ氏 (山東2西)

7月9日 鈴木 正朗氏 (山東10回)

7月17日 渡辺 芳人氏 (山中60回)

7月22日 柏倉 貞男氏 (山中57西)

7月26日 小島 靖氏 (山東7回)

7月26日 佐藤 雅巳氏 (山東12回)

7月13日 阿部 正紀氏 (山東9回)

8月4日 進藤 達朗氏 (山東27回)

8月9日 村田 泰秀氏 (山東1回)

8月10日 工藤 (軽部) 愛子氏 (山東2西)

8月10日 二藤部邦幸氏 (山東6回)

8月12日 會田鋭一郎氏 (山東1回)

8月14日 佐藤 四郎氏 (山中53回)

8月20日 相馬 均氏 (山東27回)

8月23日 佃 勲氏 (山中60回)

8月28日 阿部 喬三氏 (山中58回)

8月12日 原田 昌人氏 (山東4回)

9月12日 瀬戸 淑子氏 (山東3西)

9月13日 佐藤 豊彦氏 (山中61回)

9月16日 渡辺 雄一氏 (山中60回)

9月17日 森山憲治郎氏 (山東2回)

9月18日 坂本 英一氏 (山東9回)

9月21日 金峰 聡和氏 (山東6回)

9月23日 佐竹 俊明氏 (前校長、山東23回)

9月25日 蜂屋 (西塔) きく氏 (山東3西)

9月25日 山川 利明氏 (山東14回)

9月25日 孝太氏 (山東16回)

10月 小野 憲昭氏 (山東11回)

10月2日 工藤 二朗氏 (山中56回)

10月4日 武田 光博氏 (山東4回)

10月6日 佐藤 年義氏 (山中57回)

10月7日 佐藤 (佐藤) 京子氏 (山東2西)

10月14日 地主 幸雄氏 (山東18回)

10月17日 宮本 逸夫氏 (山東13回)

10月19日 渡邊 欽之助氏 (山中54回)

10月22日 斯波 誠一氏 (山東4回)

10月27日 工藤 秀雄氏 (山中61回)

10月28日 鈴木 一郎氏 (山中54回)

10月31日 小川 文雄氏 (山中56回)

11月2日 早坂 功氏 (山東11回)

11月5日 堀 清弥氏 (山東6回)

11月16日 新宮 正氏 (山東18回)

11月18日 上月 英昭氏 (山中54回)

11月20日 松田 明氏 (山東17回)

11月25日 藤井 了深氏 (山東30回)

12月2日 坂野 茂氏 (山中60回)

12月5日 東海林 強氏 (山東12回)

12月10日 長谷川 (結城) 和子氏 (山東2西)

12月15日 伊豆田孝雄氏 (山東8回)

12月17日 太田 長次氏 (山中49回)

12月19日 佐藤 亮貴氏 (山中56回)

12月26日 結城 邦郎氏 (山中54回)

12月31日 佐藤 政弘氏 (一高1回)

平成28年

1月31日 佐藤健二郎氏 (山東10回)

事務局日誌

平成27年

4月3日 事務局会議
事務局構成・業務分担、
まつり実行委員会は随時開催

4月8日 平成27年度入学式 (学校)

5月15日 第1回役員会
平成26度決算、
平成27年度事業計画・予算

5月29日 山形市役所東高会総会

6月19日 第1回山形県庁東高会総会

7月6日 米沢支部総会

7月9日 全国大会出場選手激励会

7月16日 会計監査

7月23日 文化部OB会総会

7月29日 東根支部総会

8月26日 第2回役員会
平成26年度事業報告・決算・監査報告
平成27年度事業計画・予算

平成27年度同窓会総会・表彰式・まつり

平成27・28年度同窓会役員選出

8月28日～30日 山東祭 (学校)

8月29日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー東魂会

9月2日 第1回評議員会
第2回役員会と同じ内容

9月25日 河北山東会総会

10月2日 酒田山東会総会

10月16日 同窓会総会・表彰式・まつり

10月24日 関西山中山東同窓会総会

10月29日 創立131周年記念式典
(学校体育館)

10月31日 寒河江支部総会

11月6日 仙台同窓会総会

11月8日 尾花沢支部総会

11月14日 山中山東東海同窓会総会

11月27日 山中山東東京同窓会懇親会

12月5日 山辺支部総会

平成28年

1月16日 大石田支部総会

1月24日 上山山形東高同窓会親睦総会

2月2日 体育部OB会総会

2月12日 第3回役員会
平成27年度補正予算、
平成28年度事業計画・予算、
会員名簿発行、まつり決算報告

2月17日 第2回評議員会
第3回役員会と同じ内容

2月19日 第2回山形県庁東高会総会

3月2日 同窓会入会式
平成28年卒山東66回東縁会

3月3日 平成27年度卒業式 (学校)

ふたたび「羽前の三山」について

前号に「校歌の『羽前三山』について」を寄せ、作詞者土井晩翠の思いをあれこれ推量した。

その稿の執筆の時、晩翠の年譜について話合った小野克彦君（東友会）から、9月にまた電話が来た。3月新刊の中公新書、鈴木将崇著「山岳信仰」によると、「出羽三山の呼称は昭和初期に研究者が使い始めた新しい用語で、それ以前は『三山』や『奥の三山』と呼ばれていた」というのである。

すぐ同書を入手して確認するとともに、手もとの吉川弘文館「国史大辞典」（第9巻）を開いてみた。すると出羽三山は「江戸時代には奥の三山、明治以降は羽前の三山」という。出羽三山と呼ぶのは昭和以降のようである」とあるではないか。

大正13年の校歌制定当時は、まだ「出羽三山」ではなく、「羽前の三山」だったのである。晩翠の造語ではなかったのだ。同辞典は自分も十数項目を担当執筆している。三山の項を目にはしても「読んで」はいなかったのだ。

前号で詳しく見たように、晩翠は山形に来ていない。だから彼は月山のアスピーテ型の山容をどれほど知っていたか疑問である。少し知っていたとしても、羽黒山、湯殿山の大きさ（小ささ）は意識になかったにちがいない。「虚空を凌ぐ」「偉大の姿」は三山を一体（ひとまとめ）としてのイメージだったのだ。

三つの峰が屹立している姿は、三山の曼荼羅絵図などでしかありえないが、それらは多分、作詞の晩翠には無縁だったであろう。

また、生粋の仙台人である晩翠にとって、蔵王

山は山形の山である以上に宮城県の山だったであろう。朝日連峰等は関心の外だったのではないか。だから山形と言えば思い浮かぶのは「羽前の三山」だったのであろう。

当時の呼称が「出羽三山」とか「三山」ではなくて幸いであった。「羽前の三山」だから詩人の感性に応え得たのである。

その結果、本校校歌の冒頭句が月山とか蔵王山とか一つの山の名称でなく、「羽前の三山」という歌い出しになったのは幸運であったと思う。

昨年来このテーマを調べながら、もう一つ感

じたのは、校歌作成について、当時と現今との取り組み方の違いである。今なら作詞者、作曲者が来て、学校とその土地、地域をよく見て感じ取る努力をしてから始めるであろう。学校側は新校歌作成計画から発表会まで、種々の段階を経るであろう。大正13年の

本校校歌作成の様子を見ると、よく言えばおおらか、見方を変えればあっさりしたものである。そして雄壮、おおらかな校歌が出来ているのである。

思えば、70年来の疑問を昨年本誌に発表したのは、東京東友会の近岡武男君の手紙に触発されてであった。1年で別の新しい解釈を得るきっかけになったのは、またも東友会同期の小野克彦君からの電話であった。

八十路を歩みながらなお、山中・山東の同期の友らと楽しみながら勉強しあい、教えてもらっていられるのは幸せなことである。

※昨年の稿の右側13行目に「読書センター」とありましたが、「読者センター」の誤植です。お詫びして訂正します。

（昭和27年卒 元校長 日野顕正 記）



厩山から月山：頂上から左へ焼ヶ岳、その左が湯殿山
写真撮影は同窓会前事務局長今野雅行氏。2015年11月5日

編集後記

同窓会報第68号が出来上がりましたので、お届けいたします。2016年の今年、山東第六十六回卒業の東縁会237名を同窓会の仲間を迎えました。昨年、同窓会事務局長を長らく務められた今野雅行先生がご退任されました。創立130周年記念事業をはじめ、同窓会への多大なる貢献に改めて感謝申し上げます。伝統ある山東にも普通科に加え、生徒の主体的な学びを重視する探究科の設置が決まりました。母校の更なる発展と後輩の活躍に御期待ください。

高橋俊彦（東龍会）・杉原貴裕（東鵬会）